

ケアレスミス絞り復習 実力以上、引き伸ばせる

「個別指導キャンパス」福盛訓之代表に聞く

高校受験を目前に控えた年末。受験生らは、志望校合格に向け、最終局面を迎えている。今何をすべきか。また、家族にできることは何か。全国で「個別指導キャンパス」を約200教室展開している福盛訓之代表にポイントを聞いた。

—受験生はこの時期どう過ごすべきか。

「体調の維持管理が大事。徹夜して体を壊し、2、3日勉強できなくなる方が痛い。また、睡眠が4、5時間だと、学校の授業中ぼろっとするなど、薄い勉強をしている時間が長くなる」

—勉強のやり方のポイントは。

「志望校の入試の過去問を解いて、自分がよく把握していない単元に関してしっかり覚える。その際、今まで使ってきた問題集でやり直すのが良く、新しく参考書を買う時期ではな

い」

—効率的な覚え方は。

「効率的な学習、暗記に関してはテクニックがある。寝る前にやっていた勉強を登校前の10〜20分くらいですぐに確認できれば、それが一番定着する。一度睡眠を挟んで覚え直すのが記憶の定着に効果的だ」

—家族はどう支えていくべきか。

「教科指導について余計な口出しをすべきではない。塾に行っている場合は、塾の先生と生徒の間でかなり内容の濃いやりとりがある。保護者はメンタル面や体調管理の心配りに徹

するべきだ」

—具体的には。

「三食きっちり食べ、早寝早起きする環境づくり。風邪をひかないよう手洗いうがいをさせるのも重要。就学前から求められる生活習慣をさせることが結果的には一番効果的」

—いま塾に行っていない

受験生が、この時期から通っても効果はあるか。

「最後の得点力アップのお手伝いは可能。ケアレスミス一つ取っても、ケアレスミスしやすい特徴が教科ごとにある。塾ではデータ分析して傾向をつかんでいするため、そういうところをざっと復習し、ケアレスミスに絞って復習し直すだけでも各教科5点くらい変わってくる。実力以上に引き伸ばせる技が塾にはある」

—個別指導キャンパスの特徴は。

「独自の学力診断テストで偏差値だけでなく単元別

の理解度が全てデータで把握できるため、それに基づいて日常の授業も講習会のカリキュラムもオーダーメイドでつくっている。そのため、すでに分かっている内容をまた勉強しなければいけないということは理論上ゼロ。限りある時間を個別指導に有効に使っている」

〈取材協力〉

新教育総合研究会
大阪市北区東天満1-10
12-201
電話06(6652)6610



【プロフィール】福盛訓之(ふくもり・としゆき)
1973年、大阪府生まれ。自身の体験から質の高い塾の重要性を実感し、19歳で個別指導塾を開業。96年に新教育総合研究会を設立した。教材や講師育成システムを独自に構築して「指導の品質」を確保するとともに、「業界屈指の低価格」の実現に尽力してきた。口コミで評判は広がり、生徒3人で始めた塾が、現在は直営校約200校を抱え、生徒数は約1万人に及ぶ。